本川根診療所
倉田矩正先生
20年間ありがとうございました

5月の終わり、千頭地区にある本川根診療所において、平成11年から20年間にわたり医師として診察を行っていただいていた倉田矩正先生が診察を終えられました。

長きにわたり本町における地域医療の一端を担っていただいていた倉田先生に想いを伺いました。

●今までを振り返って

診療所での20年で私は何かできたのか心配していましたが、やってきたことを評価していただければと思いますし、そのなかで少しでもお役に立てたことがあれば良かったかなと思います。

●この町の医療に携わって

日進月歩の医学界において、その進歩した部分をしっかりと取り入れていくこと「この町に住んでいる方々が損をしないような医療」をどのようにやっていくのかということを考えていました。

本川根診療所にかかって損をしたということのないように、大きな病院に行くのと同じようなレベルで診療ができるといったような状態を維持できるようにと、学会や医師の交流会などにも参加しながら、ある程度のレベルは保ってきたつもりです。

●続けていく中で

そういったことを続けていく中で、島田市民病院や榛原医師会の先生方の助けがありました。特に川根の高木利昌先生は私にとっての先導者として参考にさせていただき、導かれることが多かったと思います。

それこそ、この町で医療をやりやすくするための環境を高木先生がつくってくれてあり、それに乗るような形で医師会の活動などができてきたのだと思います。

●この町の今は

医療以外には、私がここに来た当時にはまだまだ進歩していなかった「福祉」や「介護」の分野がどんどん進歩してきて、その面に関してもこの町はものすごく進歩したと思います。

地域包括支援センターをはじめ訪問看護ステーション、グループホームや特別養護老人ホームができ、町においてヘルパーさんなど福祉・介護関係の皆さんがそれぞれの分野で努力をされ、ほかの町よりもかなり良い状態を創り上げてきていると思います。医療に関してもそれに負けないように頑張ろうというつもりで続けてきました。

今、この町の「医療」「福祉」「介護」については他の町には引けを取らず、むしろ誇りと言えるような状態になっていると思います。

●今のご自身について

診療所のスタッフや地域の皆さんの支えもあり、20年もの長い間診察を続けることができました。

しかしながら、家族にも疲れが見えてきたことや、自分自身の体力も落ちてきたことがあり、診療を終えさせていただくことにいたしました。

●今後について

代わりの先生についてはなかなか見つからないということで、閉院までに引き継ぎとならなかったことが残念ですが、いずれ新しい先生が診療所を再開してもらえると思いますので、それを期待しています。

私自身が心配していることは、これまで皆様の役にどれだけ立てることができたのかということでした。

これからは皆様の健康をお祈りするとともに、川根本町のさらなる発展を祈念させていただきます。

●最後に

この町は温かい人たちが住み、素晴らしい環境を持つとても良いところだと思います。

今でこそ人口減少の波がありますが、必ず盛り返すだけの力を持っていると期待しています。